

令和5年度

第2学年 評価規準

評価について

「あゆみ」に記載する、①観点別学習状況、②行動のようす、③特別活動のようすの評価は、学校で定める評価規準をもとに評価を行っています。

①観点別学習状況は、評価規準をもとに、3段階評価を行っています。

A、B、Cの3段階評価です。

「目標に対して十分満足できる」	A
「目標に対しておおむね満足できる」	B
「目標に対して努力を要する」	C

②行動のようすは、評価規準をもとに、項目ごとにその趣旨に照らして「十分満足できる」状況にあると判断されるものに「○」印を記入します。

③特別活動のようすは、特別活動（1・2・3年生は学級活動、児童会活動、学校行事、4年生以上は学級活動、児童会活動、クラブ活動、学校行事）全体にわたって認められる、お子様の活動を評価します。内容ごとにその趣旨に照らして「十分満足できる」状況にあると判断されるものに「○」印を記入します。

評価規準の内容について

評価規準に記載されている内容は、3段階評価の規準に対しておおむね満足できる場合は、3段階評価のBとなります。

※評価規準は、年度当初に計画したものを記載しているため、児童の実態や学習状況に応じて単元や内容を変更している場合があります。

第2学年 国語科 後期 評価規準

単元一覧表

単元名	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
夏がいっぱい	ア	ナ	積極的に言葉の働きに気付き、学習課題に沿って経験を文章に表そうとしている。
お気に入りの本をしょうかいしよう/ミリーのすてきなぼうし	エ	ミ	進んで読書に親しみ、学習課題に沿ってお気に入りの本を紹介しようとしている。
雨のうた	ク	ミ	粘り強く語のまとまりや言葉の響きに気をつけ、学習課題に沿って詩のよさが伝わるように音読しようとしている。
ことばでみちあんない	ケ	ツ、ト	話す事柄の順序を粘り強く考え、学習課題に沿って道案内をし合おうとしている。
かん字のひろば②	エ	ナ	今までの学習をいかして、進んで第1学年に配当されている漢字を使って文を書こうとしている。
どうぶつ園のじゅうい	ケ	ヒ、マ	進んで文章と経験とを結び付けて感想をもち、学習の見通しをもって考えたことを話そうとしている。
ことばあそびをしよう	サ		進んで言葉の豊かさに気付き、学習の見通しをもって言葉遊びを楽しもうとしている。
なかまのことばとかん字	オ		進んで言葉には意味によるまとまりがあることに気付き、学習課題に沿って言葉を集め、仲間分けをしようとしている。
かん字のひろば③	エ	ケ	今までの学習をいかして、進んで第1学年に配当されている漢字を使って文を書こうとしている。
お手紙	ク	ヒ、ヘ	粘り強く場面の様子に着目して登場人物の行動を想像し、学習課題に沿って音読劇に取り組もうとしている。
主語と述語に気をつけよう	カ		積極的に主語と述語との関係に気付き、学習課題に沿って主語と述語に気をつけて話したり、書いたりしようとしている。
かん字の読み方	エ		進んで第2学年までに配当されている漢字を使い、学習課題に沿って漢字の異なる読み方に気をつけて読もうとしている。
秋がいっぱい	ア	ナ	積極的に言葉の働きに気付き、学習課題に沿って経験を文章に表そうとしている。
そうだんにのってください	ケ、セ	ツ	積極的に相手の発言を受けて話をつなぎ、学習の見通しをもって話し合おうとしている。
馬のおもちゃの作り方/おもちゃの作り方をせつめいしよう	ケ	ト、ナ、ニ	事柄の順序に沿って粘り強く構成を考え、学習課題に沿っておもちゃの作り方を説明する文章を書こうとしている。
かたかなで書くことば	ウ	ナ	積極的にかたかなで書く語の種類を知り、今までの学習をいかして、かたかなを使って文を書こうとしている。
せかいーの話	コ	ヒ	進んで昔話の読み聞かせを聞き、学習の見通しをもっておもしろいと思ったことを伝え合おうとしている。

かん字のひろば④	エ	ナ	今までの学習をいかして、進んで第1学年に配当されている漢字を使って文を書こうとしている。
わたしはおねえさん	オ	ヒ、フ	積極的に文章と体験とを結び付けて感想をもち、学習課題に沿って物語の感想を書こうとしている。
お話のさくしゃになろう	オ、キ	ト、ヌ	事柄の順序に沿って粘り強く構成を考え、学習課題に沿って物語を書こうとしている。
冬がいっぱい	ア	ナ	積極的に言葉の働きに気付き、学習課題に沿って経験を文章に表そうとしている。
ねこのこ/おとのはなびら/はんたいことば	ク	ヘ	詩を読んで感じたことを積極的に共有し、学習課題に沿って詩を紹介しようとしている。
にたいみのことば、はんたいのいみのことば	オ		進んで言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、学習課題に沿って似た意味の言葉や反対の意味の言葉の組を作ろうとしている。
かん字のひろば⑤	エ	ナ	今までの学習をいかして、進んで第1学年に配当されている漢字を使って文を書こうとしている。
おにごっこ/本でのしらべ方	ス	タ、ハ、ヘ	文章を読んで感じたことや分かったことを進んで共有し、学習の見通しをもって、本を読んで分かったことを説明しようとしている。
ようすをあらわすことば	ア、オ	ナ	進んで身近なことを表す語句の量を増やして語彙を豊かにし、学習課題に沿って、様子を表す言葉を使って文を書こうとしている。
見たこと、かんじたこと	オ	テ	積極的に経験したことや想像したことなどから書くことを見つけ、これまでの学習をいかして詩を書こうとしている。
楽しかったよ、二年生	イ、セ、ソ	タ	伝え合うために必要な事柄を進んで選び、これまでの経験をいかして経験したことを紹介しようとしている。
カンジーはかせの大はつめい	エ		積極的に第2学年までに配当されている漢字を読み、今までの学習をいかして漢字クイズに取り組もうとしている。
ことばを楽しもう	サ		進んで言葉の豊かさに気付き、学習課題に沿って回文遊びを楽しもうとしている。
スーホの白い馬	オ	ヒ、ヘ	文章を読んで感じたことを積極的に共有し、学習の見通しをもって物語の感想を交流しようとしている。
すてきなところをつたえよう	キ	テ、ト、ニ	粘り強く文章を読み返して間違いを正したり、語と語や文と文との続き方をたしかめたりし、学習の見通しをもって手紙を書こうとしている。

○知識及び技能(1)言葉の特徴や使い方

記号	内容
ア	言葉には、事物の内容を表す働きや経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。
イ	音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気づくとともに、姿勢や口形、発生や発音に注意して話すこと。
ウ	調音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使うこと。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うこと。
エ	第1学年においては、別表の学年別漢字配当表(以下「学年漢字配当表」という。)の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使うこと。第2学年においては、学年漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読むこと。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。
オ	身近なことを表す語句の量を増やし、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすること。
カ	文の中における主語と述語との関係に気付くこと。
キ	丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れること。
ク	語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読すること。

○知識及び技能(2)情報の扱い方

記号	内容
ケ	共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。
コ	昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しむこと。

○知識及び技能(3)我が国の言語文化

記号	内容
サ	長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づくこと。
シ	昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しむこと。
ス	長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付くこと。
セ	書写に関する事項を理解し使うこと。
ソ	読書に親しみ、いろいろな本があることを知ること。

○思考力、判断力、表現力等【A話すこと・聞くこと】

記号	内容
タ	伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫すること。
チ	身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。
ツ	相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えること。
テ	伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫すること。
ト	話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつこと。

○思考力、判断力、表現力等【B書くこと】

ナ	経験したことや想像したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすること。
ニ	自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。
ヌ	語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。
ネ	文章を読み返す習慣をつけるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりすること。
ノ	文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見つけること。
ハ	文章の中の重要な語や文を考えて選び出すこと。

○思考力、判断力、表現力等【C読むこと】

ヒ	時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。
フ	場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えること。
ヘ	文章の中の重要な語や文を考えて選び出すこと。
ホ	場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。
マ	文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。
ミ	文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。

第 2 学年 算数科 後期 評価規準

単元一覧表

記号	単元名
ア	計算のくふう
イ	たし算とひき算のひっ算
ウ	長方形と正方形
エ	かけ算（1）
オ	かけ算（2）
カ	4けたの数
キ	長いものの長さのたんい
ク	たし算とひき算
ケ	分数
コ	はこの形

○知識及び技能

記号	単元名
ア	加法の結合法則や（ ）の用い方を理解するとともに、簡単な加減法の暗算ができる。
イ	2位数の加法及びその逆の減法の計算について、1位数などの基本的な計算を基にできることを知り、それらの筆算の仕方について理解し、筆算の手順を基に確実に計算することができる。
ウ	三角形や四角形、直角、長方形、正方形、直角三角形の意味や性質を理解するとともに、紙を折って直角を作ったり、長方形や正方形などを作図したりすることができる。
エ	乗法が用いられる場合や乗法九九について知り、乗法の意味や乗法に関して成り立つ性質（乗数が1ずつ増えるときの積の増え方や交換法則）を理解し、乗法が用いられる場面を絵や図、言葉、式で表したり、乗法九九（5、2、3、4の段）を構成し、確実に唱えたりすることができる。
オ	乗法九九について知り、乗法に関して成り立つ性質の理解を確実にするとともに、乗法が用いられる場面を絵や図、言葉、式で表したり、乗法九九（6、7、8、9、1の段）を構成し、確実に唱えたりすることができる。
カ	4位数について、数の読み方や表し方、数の構成や大小、順序、数の相対的な大きさを理解し、数を書いたり読んだり、数や式の大小・相等関係を、不等号や等号を用いて表したりすることができる。
キ	長さについて単位と測定の意味や、単位の関係を理解し、およその見当をつけながら量の感覚を身につけるとともに、長さの単位を適切に選択して身の回りのものの長さを測定し表現することができる。
ク	加法と減法の相互関係について理解し、加法と減法の相互関係を表した図を用いて、図や式に表

	し、問題を解決することができる。
ケ	具体物を操作することなどによって、 $1/2$ や $1/3$ などの簡単な分数について知り、いくつかに等分した大きさの1つ分をつくりそれらの大きさを分数を使って表すことができる。
コ	箱の形をしたものの構成要素について理解し、正方形や長方形を組み合わせたり、ひごなどを用いたりして、箱の形を構成することができる。

○思考力、判断力、表現力等

記号	単元名
ア	()の中を1つの数とみて、式の意味を考え表現したり場面を式に表したりするとともに、3口の数の加法計算について、数量の関係に着目し、結合法則などを基に工夫して計算している。
イ	既習の筆算を基に、数の仕組みに着目し、2位数の加法及びその逆の減法の筆算の仕方を、図や式などを用いて考え表現している。
ウ	辺や頂点など図形を構成する要素に着目し、三角形や四角形、長方形や正方形などの特徴を見だし、説明している。
エ	数量の関係に着目し、累加の考えや乗数と積の関係などを基に、乗法九九の構成の仕方を考え表現している。
オ	数量の関係に着目し、乗法について成り立つ性質やきまりを用いて、乗法九九の構成の仕方を考え工夫し、表現している。
カ	数のまとまりに着目し、十進位取り記数法の仕組みを考え表現したり、数を相対的な大きさからとらえたりしている。
キ	上位単位の必要性に気付き、身の回りのものの特徴を長さに着目してとらえ、既習の学習を基に長いものの長さを表す単位について考えている。
ク	数量の関係に着目し、場面を図に表して構造をとらえている。
ケ	元の大きさと分けた大きさの関係や、分けた大きさは全て等しいことに着目して分数について考えたり、2つの数量の関係に着目して倍や分数の意味についてとらえたりしている。
コ	頂点、辺、面などの図形を構成する要素に着目し、箱の形の特徴を見だし、説明している。

○主体的に学習に取り組む態度

記号	単元名
ア	加減の計算方法について、計算法則、数の見方や構成を活用して、進んで()を使って1つの式に表したり、計算の順序について考えたりしようとしている。
イ	2, 3位数の加減の筆算の仕方について、図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよさに気付き今後の生活や学習に活用しようとしている。

ウ	身の回りにあるものの形の中から、三角形や四角形、長方形や正方形などを見つけ図形としてとらえ、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
エ	数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理や乗法のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
オ	数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理や、乗法について成り立つ性質やきまりを用いることのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
カ	数のまとまりに着目して数を調べた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
キ	身の回りにあるものの長さに関心を持ち、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
ク	加法と減法の相互関係に関心を持ち、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
ケ	具体物や図などを用いて数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
コ	身の回りにあるものの形の中から、箱の形をしたものを見つけ、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。

第2学年 生活科 後期 評価規準

単元一覧表

記号	単元名
ア	まちをたんけん 大はっけん
イ	あそんで ためして くふうして
ウ	もっともっと まちたんけん
エ	ひろがれ わたし
オ	ぐんぐんそだて おいしいやさい
カ	小さな 友だち

○知識・技能

記号	内容
ア	地域と関わる活動を通して、地域での生活はさまざまな人や場所と関わっていることや、地域には公共施設があり、それらを支えている人がいることに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身につけている。
イ	身近にある物で遊ぶ活動を通して、遊びやおもちゃをつくる面白さや、おもちゃの動きの不思議さに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身につけている。
ウ	地域と関わる活動を通して、地域での生活はさまざまな人や場所と関わっていることや、他者と関わることによさに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身につけている。
エ	自分の成長を振り返る活動を通して、自分が身体的に大きくなったことや、できることが増えたことなどに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身につけている。
オ	継続的に植物を栽培する活動を通して、植物が生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身につけている。
カ	継続的に生き物を飼育する活動を通して、生き物が生命をもっていることや成長していると気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に着けている。

○思考・判断・表現

記号	内容
ア	地域と関わる活動を通して、地域の人や場所の存在や、公共施設のよさについて考えている。
イ	身近にある物で遊ぶ活動を通して、遊びや遊びに使う物を工夫してつくっている。
ウ	地域と関わる活動を通して、これまでの活動の経験を生かしながら、地域の人や場所の存在についてより深く考えたり、他者に伝えたいことを考えたりしている。
エ	自分の成長を振り返る活動を通して、自分や自分を支えた人々について考えている。
オ	継続的に植物を栽培する活動を通して、これまでの栽培の経験を生かしながら、植物の変化や成長の様子について考えている。
カ	継続的に生き物を飼育する活動を通して、生き物の生態、変化や成長の様子について考えている。

○主体的に学習に取り組む態度

記号	内容
ア	地域と関わる活動を通して、地域に親しみをもって生活したり、公共施設を正しく利用したりしようとしている。
イ	身近にある物で遊ぶ活動を通して、遊びを創り出そうとしている。
ウ	地域と関わる活動を通して、地域により親しみをもって生活したり、他者と進んで交流したりしようとしている。
エ	自分の成長を振り返る活動を通して、これからの自分の成長への願いをもって、意欲的に生活しようとしている。
オ	継続的に植物を栽培する活動を通して、植物に親しみをもち、大切にしようとしている。
カ	継続的に生き物を飼育する活動を通して、生き物に親しみをもち、大切にしようとしている。

第2学年 音楽科 後期 評価規準

単元一覧表

記号	題材名
ア (歌唱)	ジェットコースター/虫のこえ/タやけこやけ/つき・とんぼのめがね・雪/村まつり /ウンパツパ/春が来た
イ (器楽)	森のたんけんたい/こぎつね/汽車は走る/チャチャマンボ
ウ (音楽づくり)	どんな音がきこえるかな/おまつりの音楽をつくろう
エ (鑑賞)	ゆかいな時計/日本のたいこ/そりすべり/ウィーンの音楽時計

○知識及び技能

記号	内容
	曲想と音楽の構造との関わりに気づき、思いに合った表現をするために必要な歌声や演奏の仕方を身につけて表現する。
ア	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想や音楽の構造と歌詞の内容との関わりに気づいている。 ・範唱や伴奏を聴いて声を合わせて歌ったり、歌声及び発音に気を付けて歌ったりしている。
イ	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造との関わりや、楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて気づいている。 ・思いに合った表現をするために必要な範奏を聴いたり、リズム譜などを見たりして演奏している。 ・互いの楽器の音や伴奏を聴いて、音を合わせて演奏している。
ウ	<ul style="list-style-type: none"> ・音やフレーズをつなげるために必要な音楽の仕組みについて、それらが生み出す良さや面白さなどに関わらせながら理解している。 ・思いに合った表現をするために、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身につけて表現している。
エ	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造との関わりや、曲や演奏の楽しさに気づいている。

○思考力、判断力、表現力等

記号	内容
	音楽を形づくっている要素を聞き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聞き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音や声を合わせて表現するかについて思いをもっている。
ア	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想を感じ取ったり互いの歌声や伴奏を聴いたりして、どのように歌うかについて思いをもっている。
イ	<ul style="list-style-type: none"> ・互いの楽器の音や伴奏を聴いて、どのように音を合わせて演奏すればいいかについて思いをもっている。 ・曲想にふさわしい表現方法を工夫するために、どのように演奏すればいいかについて思いをもっている。
ウ	<ul style="list-style-type: none"> ・リズムをつくったりつなげたりすることを繰り返し、その都度聞き取った音や感じ取ったよさや面白さなどの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていくなかについて思いをもっている。
エ	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏の楽しさを見だし、身体表現をするなどしながら曲全体を味わって聴いている。

○主体的に学習に取り組む態度

記号	内容
	音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に、学習活動に取り組もうとしている。
ア	・曲想を感じ取ろうとしたり、声を合わせて歌うためにどうすればいいか考えたりしながら、進んで学習活動に取り組もうとしている。
イ	・音を合わせて演奏するためにどうすればいいか考えたり、感じ取った曲想にふさわしい演奏方法を考えたりしながら、進んで学習活動に取り組もうとしている。
ウ	・旋律やリズムを組み合わせることを楽しみながら、進んで学習活動に取り組もうとしている。
エ	・曲や演奏の楽しさに気づいて聴く学習活動に進んで取り組もうとしている。

第2学年 図画工作科 後期 評価規準

単元一覧表

記号	単元名
ア	はさみのあーと
イ	ことばの かたち
ウ	パタパタストロー
エ	しんぶんしとなかよし
オ	音づくり フレンズ
カ	たのしく うつして
キ	まどから こんにちは
ク	ざいりょうからひらめき
ケ	くしゃくしゃぎゅっ

○知識・技能

記号	内容
ア	<p>知識：はさみで紙をどんどん切ったり、できた形で表したりするときの感覚や行為を通して、いろいろな形や触った感じなどに気付いている。</p> <p>技能：はさみ、のりに十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことを基に表し方を工夫して表している。</p>
イ	<p>知識：読んだり聞いたりした物語から想像を広げて絵に表すときの感覚や行為を通して、いろいろな形や色などに気付いている。</p> <p>技能：クレヨン・パス、共用の絵の具などに十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことを基に表し方を工夫して表している。</p>
ウ	<p>知識：ストローで動く仕組みから思い付いたものを表すときの感覚や行為を通して、いろいろな形や色などに気付いている。</p> <p>技能：はさみ、ペン、のりなどに十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことを基に表し方を工夫して表している。</p>
エ	<p>知識：新聞紙に体全体で関わるときの感覚や行為を通して、いろいろな形や触った感じなどに気付いている。</p> <p>技能：新聞紙に十分に慣れるとともに、並べたり、破いたり、まとったり、丸めたり、ねじったりするなど手や体全体の感覚などを働かせ、活動を工夫してつくっている。</p>
オ	<p>知識：音が鳴る材料や仕組みから、思い付いたものをつくるときの感覚や行為を通して、いろいろな形や色、触った感じなどに気付いている。</p> <p>技能：はさみ、木工用接着剤、テープなどに十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことを基に表し方を工夫して表している。</p>
カ	<p>知識：型紙をつくったり、つくった型紙を使って形を写して表すときの感覚や行為を通して、いろいろな形や色などに気付いている。</p> <p>技能：ローラーや共用の絵の具に十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことを基に表し方を工夫して表している。</p>

キ	<p>知識：窓が開く仕組みから思い付いたものを表すときの感覚や行為を通して、いろいろな形や色などに気付いている。</p> <p>技能：カッターナイフ、のりなどに十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことを基に表し方を工夫して表している。</p>
ク	<p>知識：いろいろな材料に触れながら思い付いたことを表すときの感覚や行為を通して、いろいろな形や色、触った感じなどに気付いている。</p> <p>技能：いろいろな材料、はさみ、のりなどの接着剤に十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことを基に表し方を工夫して表している。</p>
ケ	<p>知識：紙をくしゃくしゃにしたり、くしゃくしゃにした紙から思い付いたものを表したりするときの感覚や行為を通して、触った感じやいろいろな形や色などに気付いている。</p> <p>技能：大きな紙、ひも、のりなどの接着剤などに十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことを基に表し方を工夫して表している。</p>

○思考・判断・表現

記号	内容
ア	<p>表現：いろいろな形や触った感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、はさみで紙を切ることや、できた形から感じたことや想像したことから、表したいことを見付け、好きな形を選んだり、いろいろな形を考えたりしながら、どのように表すかについて考えている。</p> <p>鑑賞：いろいろな形や触った感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品の造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。</p>
イ	<p>表現：いろいろな形や色などを基に、自分のイメージをもちながら、物語を読んだり聞いたりして感じたことや想像したことから、表したいことを見付け、好きな形や色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのように表すかについて考えている。</p> <p>鑑賞：いろいろな形や色などを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品の造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。</p>
ウ	<p>表現：いろいろな形や色などを基に、自分のイメージをもちながら、仕組みを動かして感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、好きな形や色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのように表すかについて考えている。</p> <p>鑑賞：いろいろな形や色などを基に、自分のイメージをもちながら、仕組みを動かすなどして自分たちの作品の造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。</p>
エ	<p>表現：いろいろな形や触った感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、新聞紙の形や大きさ、触った感じなどを基に造形的な活動を思い付き、感覚や気持ちを生かしながら、どのように活動するかについて考えている。</p> <p>鑑賞：いろいろな形や触った感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、新聞紙やつくったものの造形的な面白さや楽しさ、造形的な活動、つくり方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。</p>
オ	<p>表現：いろいろな形や色、触った感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、材料を鳴らして感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、好きな形や色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのように表すかについて考えている。</p>

	鑑賞：いろいろな形や色，触った感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，音を鳴らして自分たちの作品や身近な材料などの造形的な面白さや楽しさ，表したいこと，表し方などについて、感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を広げている。
カ	表現：いろいろな形や色などを基に，自分のイメージをもちながら，形を写して感じたことや想像したことから，表したいことを見付け，好きな形や色を選んだり，いろいろな形や色を考えたりしながら，どのように表すかについて考えている。 鑑賞：いろいろな形や色などを基に，自分のイメージをもちながら，自分たちの作品の造形的な面白さや楽しさ，表したいこと，表し方などについて感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を広げている。
キ	表現：いろいろな形や色などを基に，自分のイメージをもちながら，開く窓の形や様子から感じたこと，想像したことから，表したいことを見付け，好きな形や色を選んだり，いろいろな形や色を考えたりしながら，どのように表すかについて考えている。 鑑賞：いろいろな形や色などを基に，自分のイメージをもちながら，自分たちの作品の造形的な面白さや楽しさ，表したいこと，表し方などについて、感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を広げている。
ク	表現：いろいろな材料に触れて感じたこと，想像したことから，表したいことを見付け，好きな形や色を選んだり，いろいろな形や色を考えたりしながら，どのように表すかについて考える。 鑑賞：自分たちの作品や身近な材料などの造形的な面白さや楽しさ，表したいこと，表し方などについて、感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を広げている。
ケ	表現：触った感じやいろいろな形や色などを基に，自分のイメージをもちながら，くしゃくしゃにする紙の感触や形から感じたこと，想像したことから，表したいことを見付け，好きな形や色を選んだり，いろいろな形や色を考えたりしながら，どのように表すかについて考えている。 鑑賞：触った感じやいろいろな形や色などを基に，自分のイメージをもちながら，自分たちの作品や紙の感触などの造形的な面白さや楽しさ，表したいこと，表し方などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を広げている。

○主体的に学習に取り組む態度

記号	内容
ア	つくりだす喜びを味わい楽しくはさみで紙をどんどん切って，できた形から表す学習活動に取り組もうとしている。
イ	つくりだす喜びを味わい楽しく読んだり聞いたりした物語から想像を広げて表す学習活動に取り組もうとしている。
ウ	つくりだす喜びを味わい楽しくストローで動く仕組みから，思い付いたものを表す学習活動に取り組もうとしている。
エ	つくりだす喜びを味わい楽しく新聞紙に体全体で触れながら，思い付いたことを試す学習活動に取り組もうとしている。
オ	つくりだす喜びを味わい楽しく音が鳴る材料や仕組みから，思い付いたものをつくる学習活動に取り組もうとしている。
カ	つくりだす喜びを味わい楽しく型紙でつくった形を写して表す学習活動に取り組もうとしている。
キ	つくりだす喜びを味わい楽しく窓が開く仕組みから，思い付いたものを表す学習活動に取

	り組もうとしている。
ク	つくりだす喜びを味わい楽しく材料の形や色、触った感じから思い付いたことを表す学習活動に取り組もうとしている。
ケ	つくりだす喜びを味わい楽しくくしゃくしゃにした紙から思い付いたものを立体に表す学習活動に取り組もうとしている。

第2学年 後期 体育科 評価規準

単元一覧表

記号	単元名
ア	跳の運動遊び
イ	マットを使った運動遊び
ウ	跳び箱を使った運動遊び
エ	ゲーム（おに遊び・ボール投げゲーム・ボール蹴りゲーム）

○知識・技能

記号	内容
ア	・跳の運動遊びの行い方を知るとともに、前方や上方に跳んだり、連続して跳んだりすることができる。
イ	・マットを使った運動遊びの行い方を知るとともに、いろいろな方向へ転がり、手で支えて体の保持や回転をすることができる。
ウ	・跳び箱を使った運動遊びの行い方を知るとともに、跳び乗りや跳び下り、手を着いてのまたぎ乗りやまたぎ下りをすることができる。
エ	・おに遊びでは、一定の区域で、逃げる、追いかける、陣地を取り合うなどを行うことができる。 ・ボールゲームの行い方を知るとともに、簡単なボール操作と攻めや守りの動きによって、易しいゲームをすることができる。

○思考・判断・表現

記号	内容
ア	・走ったり跳んだりする簡単な遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えている。
イ	・マットを使った運動遊びの簡単な遊び方を選んでいる。 ・友達のよい動きを見付けたり、考えたりしたことを友達に伝えている。
ウ	・跳び箱を使った運動遊びの簡単な遊び方を選んでいる。 ・友達のよい動きを見付けたり考えたりしたことを友達に伝えている。
エ	・少人数で連携して相手（おに）をかわしたり、走り抜けたりすることについて考えたことを友達に伝えている。 ・ボールが飛んだり、転がったりしてくるコースに入るについて考えたことを友達に伝えている。 ・友達のよい動きを見付けたり、考えたりしたことを友達に伝えている。

○主体的に学習に取り組む態度

記号	内容
アエ	・運動に進んで取り組み、きまりを守り仲良く運動したり、勝敗を受け入れたり、場の安全に気をつけたりしようとする。
イウ	・運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲良く運動をしようとしたり、場や器械・器具の安全に気をつけたりしようとする。

第1・2学年 行動のようす

【基本的な生活習慣】

- ・丁寧な言葉づかいやきちんとした態度で返事やあいさつをしている。
- ・学級・学校のきまりや約束を守り、規則正しい生活をしている。
- ・校内の生活リズムに合わせた行動をとっている。
- ・好き嫌いなく食べている。
- ・交通ルールや学校のきまりがあることが分かり、安全に気を付けて生活している。
- ・机の中やロッカーの整頓など身の回りを整えている。
- ・危ない遊びや危険な場所での遊びをしないで、安全に遊んでいる。

【健康・体力の向上】

- ・ハンカチやちり紙などの用意や、手洗い・うがいなど清潔や衛生に気をつけて生活している。
- ・仲間と素直にのびのびと生活している。
- ・よい姿勢で学習している。
- ・自ら進んで運動遊びを楽しんでいる。

【自主・自律】

- ・自分の考えをみんなの前で発表しようとしている。
- ・よいと思うことをものおじせずに進んで行っている。
- ・学習や役割に最後まで粘り強く努力している。

【責任感】

- ・自分の使った道具や用具を、きちんと片付けている。
- ・学級の係や当番の仕事を最後まで行っている。

【創意工夫】

- ・生活の中で、よい方法を考えながら活動している。
- ・係や当番の仕事をしているとき、自分でよりよい方法を考えて上手に行っている。
- ・興味あることをまねたり、遊びを楽しんだりして工夫している。
- ・自分のしたいことやできることを素直に表現したり、行動に表したりしている。

【思いやり・協力】

- ・様々なやり取りを通じて、友達を大事にしている。
- ・困っている友達には、進んで手をかけている。
- ・身近にいる幼児や高齢者に対して、優しく接したり、助けたりしている。
- ・友達の役割が遅れたり、できないときは、待ってあげたり手伝ってあげたりしている。

【生命尊重・自然愛護】

- ・身近な自然の中で楽しく遊んでいる。
- ・草花や小動物にやさしい心で接している。
- ・草花や小動物などの世話を喜んでしている。
- ・自分の成長を喜び、自他の生命も同じように大切にしている。

【勤労・奉仕】

- ・頼まれたことや自分でできる手伝いや役割などを喜んでしている。
- ・友達や先生の手伝いを進んでしている。

【公正・公平】

- ・いろいろな友達と仲良くしている。
- ・まちがいや正しくないことをしているときは注意している。
- ・友だちから強く言われても、言いなりにならず自分の力で考えてから行動している。

【公共心・公德心】

- ・学校でみんなが使うものを大切にしている。
- ・みんなが使うものや場所を大切にしている。
- ・登下校では、交通ルールを守り、他の人に迷惑をかけずに行動している。

第2学年 特別活動 評価規準

○学級活動

よりよい生活を築くための 知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
<ul style="list-style-type: none"> ・みんなと楽しい学級生活をつくることの大切さや、学級集団としての意見をまとめる話し合い活動や実践の基本的な進め方や役割を理解し、技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しい学級生活をつくるための課題を見だし、その解決のために話し合い、自己の役割や集団としてのよりよい方法について考え、合意形成を図り、仲よく助け合って実践している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなと楽しい学級生活をつくるために、見通しをもったり振り返ったりしながら、身に付けたことを生かし、自分の考えをもち、役割を意識しながら仲よく助け合って集団活動に取り組もうとしている。

○児童会活動

よりよい生活を築くための 知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
<ul style="list-style-type: none"> ・みんなと楽しい学校生活をつくることの楽しさやそのために高学年を中心に活動していること、そのための活動内容や参加の仕方を理解し、技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しい学校生活をつくるために、児童会の一員としての役割や自分たちにできることを考えて話し合い、合意形成を図ったり、意思決定をしたりして実践している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなと楽しい学校生活をつくるための集団活動に興味・関心をもち、見通しをもったり振り返ったりしながら、仲よく助け合って学校をよりよくしようとしている。

○学校行事

よりよい生活を築くための 知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事の楽しさやそれぞれの行事の内容や参加の仕方を理解し、行事のねらいに合った参加の仕方を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や学年の一員であることを意識しながら、学校行事での自分の役割や自分にできることを考えて話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりしながら実践している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事に関心をもち、見通しをもったり振り返ったりしながら、仲よく助け合って取り組もうとしている。